

▲△▲ 山城:奥多摩、梅沢中流域 ▲△▲

◎ 日付:2019/7/24 ◎ メンバー:西山単独

◎ 参考タイム:東屋 7:53→入渓点 8:10→東屋 12:30

この沢は定期的にヤマメの放流が行われている。平日だから誰もいないかと思いきや、河原に降りたらエサ師の先行者がいた。先に行くわけにもいかないので、挨拶をしてもうすこし下から入渓しなおした。釣りはもう無理だろうと思ったが、遊漁券も買っているので、一応竿を出すとちっちゃなヤマメくん、すぐにリリースをする。気を良くして竿を振りながら進むと深い釜に着いた。ライフジャケットに空気を入れて、泳ぐ「寒い！」まだ、空は曇りで気温が高くないなんとか頑張っただけで超える。

でも、またまた次もへつれない釜が出現、「寒いよー」とガタガタ震えながら泳ぐ。そんな感じで、竿を振り、釜をガタガタ泳ぎながら進む。かなりノロノロのペース。そうしていると後ろから声が、ガイドパーティのようだ。こうなると釣りは諦めるしかないなあと思い、彼らと一緒にいく。若い人達のように楽しそうだ。

彼らは途中までで、沢を上がりまた一人になった。と、思ったら先程のエサ師さん、ヤマメ一匹釣ったのを見せてくれたが、自分としてはリリースサイズだなあと感じた。ここから先は行かないそうなので、先に行かせてもらう。そのあともう一匹釣ったが、これまた15cm位なのでオートリリース（釣り上げずに針を外す技）して、泳ぎに集中する。日が差してきたところまで堰堤に着いた。左から巻いて上がると、打って変わって静かな溪相にかわる。もう泳げる釜はなさそうなので、東屋近くで行ってから上ることにした。

写真1

釜で釣りをしています。



写真2 写真泳ぎしています。



写真3

写真3 落ちると深い釜



西山哲明